

かみさま 神様の ことば み言葉を たくわえる

まずい ことになりました。砂場の ふちに
きれいな 青い スコップと バケツがあるの
を見て、だれも それで 遊んでいないようだった
ので、トーマスは それで 遊び始めたのです。

(ちょっとの間だけさ。) トーマスは
そう 思いました。(きっと、だれも 気づきや
しないさ。)

「それ、わたしの スコップと バケツなんだ
けど!」 砂場で 遊んでいた もう 一人の
女の子、メリッサが さげびました。「人の 物を
ぬすんだわね!」



「もう ^{あそ}遊んでいないと ^{おも}思っただけだよ。」と、
トーマス。

「それでも ^{おな}同じよ。」 メリッサは、
トーマスから スコップと バケツを さっと
取り ^{かえ}返しました。「聞かないで ^と取るのは、
ぬすむのと ^{おな}同じ ことだわ。」 そう 言うと、
メリッサは わきの ^{した}下に バケツを ^かかえ、
プンブン おこって ^い行ってしまいました。

トーマスは、もう ^{あそ}遊ぶ ^き気には なれません
でした。お母さんと お姉ちゃん ^{ねえ}の ケイトが
ブランコに ^の乗っている ^いところに行きました。

「そんなに ^いしょげて、 ^い一体 どうしたの？」
お母さんが ^き聞きました。

「ぼく、メリッサの ^{あそ}おもちゃで ^{あそ}遊んで ^おたんだ。
メリッサが ^{あそ}もう ^{おも}遊んでいないと ^{おも}思っ

「公園で ^こほかの子の ^とおもちゃを ^と取っちゃ
いけないの、わかってるでしょ。」 ^{あたま}頭を ^{よこ}横に
ふりながら、ケイトが ^い言いました。

「うん・・・。」 ^{くち}口ごもりながら トーマスが
^い言いました。「だけど、すぐに ^いわすれちゃうんだ。」



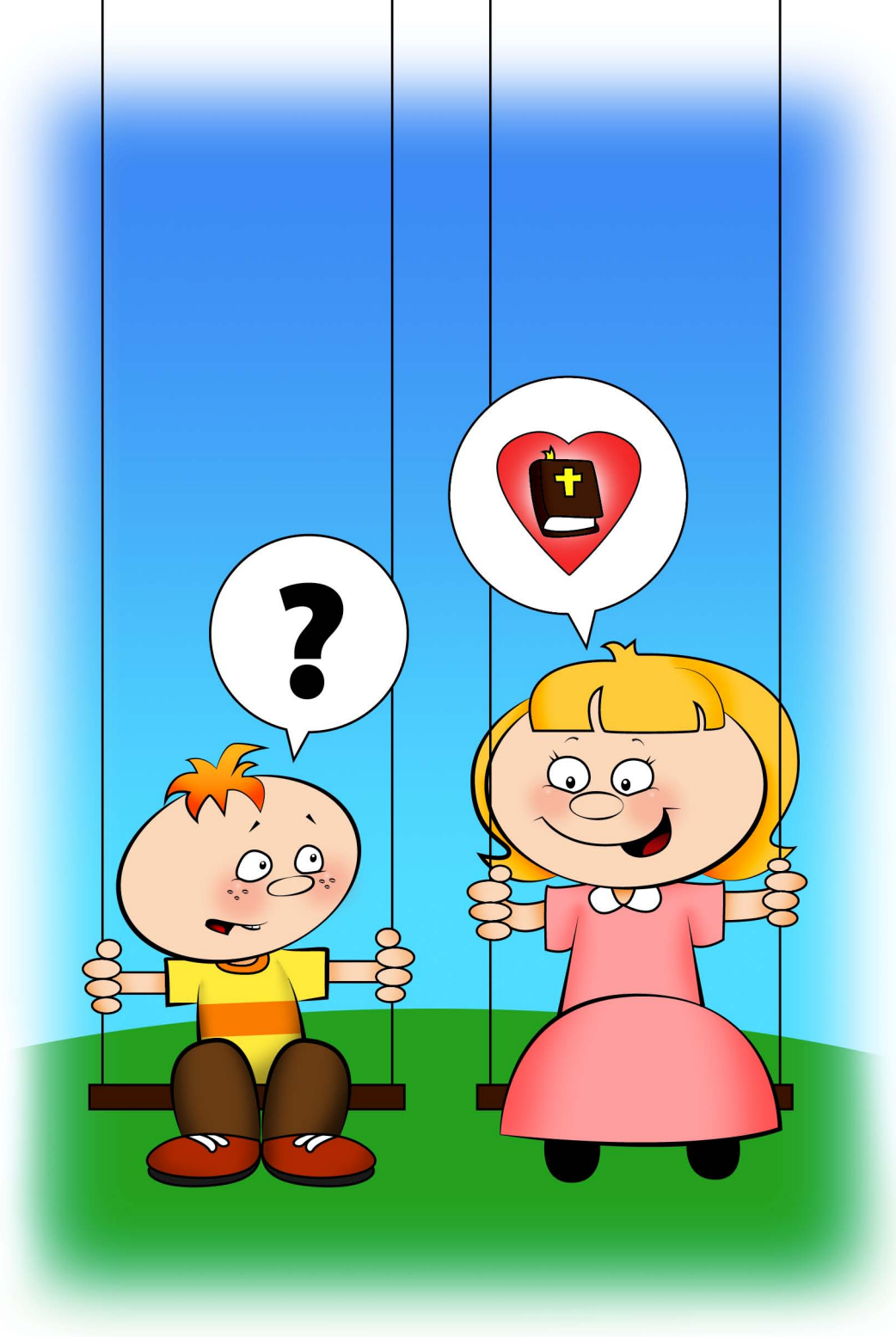
「母さんも、正しいことをするのは
大変だったわ。」

トーマスは思わず、お母さんのほうを
見上げて言いました。「本当？」

「ええ、本当よ。今だって、そういうことは
あるわ。でも、あなたくらいの時は、特に
大変だったのよ。でもね、ある日お父さんが、
聖書に書かれている賢い人についての
お話をしてくれたの。その人も、正しいことを
わすれないようにするのが大変だったんで
すって。」思わず、ケイトとトーマスは、
お母さんのほうに乗り出しました。「だけど
その人は、わすれないようにするコツを
学んだのよ。詩篇の中で、王様ダビデが
神様にこう言っているところがあるの。

『わたしはあなたにむかって罪をおかす
ことのないように、心のうちにみ言葉を
たくわえました。』¹

「それって、どういう意味なの、お母さん。」
トーマスが聞きました。



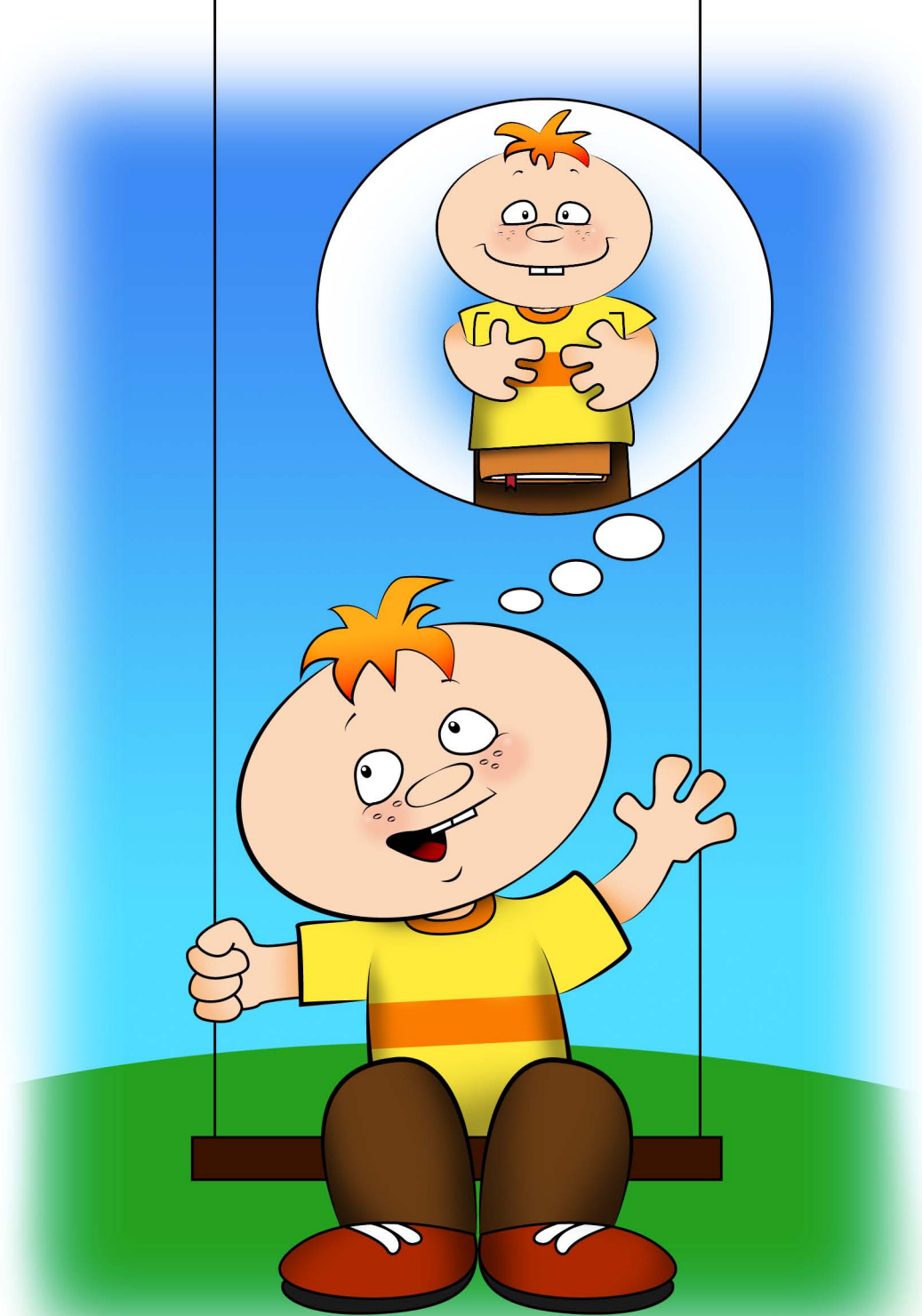
¹ 口語訳聖書、詩篇 119:11

「それはね、心こころを神様かみさまのみ言葉ことばでいっぱいにする
れば、まわりの人ひとたちに對してたい正しいただ
行おこないができるようになるということなの。
ほかの人ひとをきずつけないように、がんばれる
ようになるのよ。神様かみさまのみ言葉ことばを知しっていると、
ただただ正しいことをするのやくだに役立つの。」

「だけど、どうやって神様かみさまのみ言葉ことばを心こころの
なかなかにたくわえるの?」と、ケイトが聞ききました。

「シャツのなかなかに聖書せいしょをかくしておくの?」
トーマスが、ニヤッと笑わらって言いいました。

お母さんかあはほほえみしました。「神様かみさまの
み言葉ことばを勉強べんきょうして暗記あんきすれば、心こころのなかなか
たくわえられるのよ。そうすれば、どうするべきか
かんがかんがえるときに、神様かみさまのみ言葉ことばから学まなんだ
ことが心こころにうかぶようになるの。思おもい出だすのよ。
ちょうど、神様かみさまのみ言葉ことばでかくれんぼする
みたいなものね!」



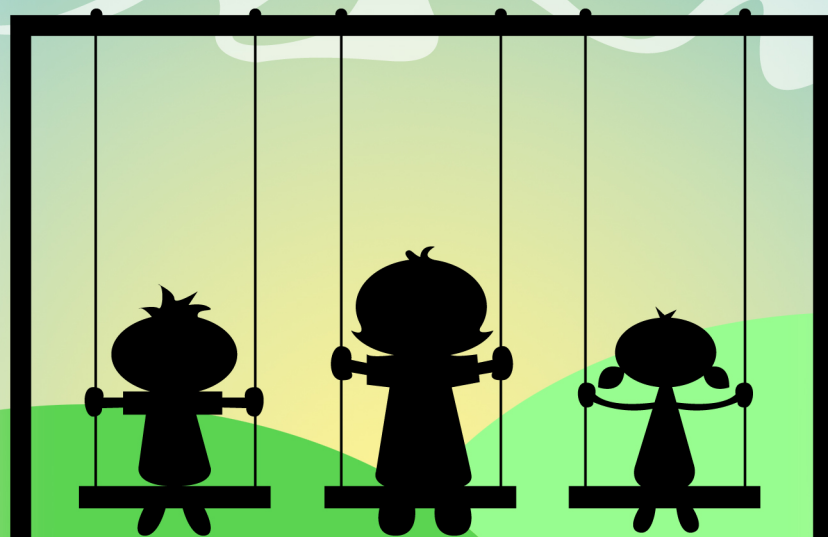
「ふ～ん。おもしろそう。」とケイト。「たった
いま、わたしたちの心の^{こころ}なかに^{なか}何か^{なか}たくわえる
こともできるの？」

「今日^{きょう}たくわえておくのに^{いい}聖句^{せいこ}があるわ。
『心^{こころ}をつくして^{しゅ}主に^{しんらい}信頼^{じぶん}せよ、自分の^{ちしき}知識^{ちしき}に
たよっては^{ならない}。すべての^{みち}道^{しゅ}で^{みと}主^{みと}を^{認めよ}、
そうすれば、主^{しゅ}は^{あなた}の^{みち}道^{みち}を^{まっすぐ}に
される。』²

この^{せいこ}聖句^{せいこ}はね、もしわたしたちが^{かみさま}神様^{かみさま}に
寄り頼^よみ、自分の^{じぶん}する^{しゅ}こと^{みと}について^{しゅ}も^{みと}主^{みと}を^{認め}、
自分の^{じぶん}考^{かんが}え^{かんが}では^{なく}、神様^{かみさま}の^{おし}教^{おし}え^{したが}に^{したが}従^{したが}うよう
最善^{さいぜん}をつくせば、神様^{かみさま}はわたしたちが^{ただ}正^{ただ}しい
ことができ^{みちび}るように^{おし}導^{おし}いて^{おし}くださると^{おし}教^{おし}えて
くれているの。」

トーマスとケイトは、お母^{かあ}さんと^{いっしょ}に
その^{せいこ}聖句^{せいこ}を^{なんど}何度^{かえ}か^いくり返^いして^い言^いいました。
すると、トーマスは^{ある}ある^{おも}ことを^{おも}思^{おも}い^{おも}つきました。

^{こうごやくせいしょしんげん}
² 口語訳聖書、箴言 3:5,6



「お母さん、ぼく、何も言わないで
メリッサのものを取っちゃったこと、
あやまってくるよ。あやまるの、
わすれてたから。」

「それはいい考えね。じゃあ、いっしょに
行きましょうか。」お母さんも言いました。

「そうね。」 ケイトもうなずきました。

「どうするのが正しいことなのか
わかって、うれしいな。」 トーマスも
言いました。

「わたしもうれしいわ。」とお母さん。

お
終わり

聖句: わたしはあなたにむかって罪をおかす
ことのないように、心のうちにみ言葉を
たくわえました。(口語訳聖書、詩篇 119:11)

文: アリーヤ・スミス 絵: アルビ
デザイン: クリステリア・コーブランド
出版: マイ・ワンダー・スタジオ

Copyright © 2011年、ファミリーインターナショナル
"Hiding God's Word"--Japanese

<http://www.mywonderstudio.com/0-5/2011/10/24/hiding-gods-word.html>

